

石クリ通信

4月号

障害者のコミュニケーション 院長 石川 悟

先日聴力障害のある方が新患でいらつしやいました。コミュニケーションが難しい場合は筆談で...という話だったので、ボールペンとメモ帳を準備して診察を始めました。比較的若い患者さんでしたが、診察テーブルにスマホを置いて、これに話して下さい、とのこと。「尿検査は正常でした。」などこちらの話が日本語の文字に変換されて画面に表示され、また患者さん本人の話もすべてスマホに表示されました。生まれつき耳の不自由な方らしく、しゃべる言葉も少し不明瞭な部分もありましたが、画面を見ると、ほぼ完璧に日本語変換されていました。障害のある方の手助けをするテクノロジーの研究が進んで、便利な機械や技術開発の報道を目にしますが、実際の生活の現場で使われるまでには、いろいろな壁があるようです。高価過ぎないか、製品として採算が取れるか、使い勝手が悪くないかなどです。

スマホの翻訳機能なども最近では非常に良くできていますし、今回見たアプリも、変換の速度も速いし、画面も見やすく、こちらがうまく聞き取れないような言葉も変換できています(AIの学習機能のおかげ?)。また確認はしていませんが、記録として残すこともできると思います。ウイルス攻撃による電子カルテの使用不全など非常に悪質な事件もありますが、デジタル技術は確実に生活の役に立つものになってきていると思います。

食べ合わせレシピ

看護師 太田 小百合

「ソッコで人間をダメにするウマさ。悪魔の食べ合わせレシピ」をご存知でしょうか。ラーメン+プリン、バナナ+シラス、明太子+リンゴ、などがあります。「ええ〜!」と眉をひそめてしまいますよね。しかし甘味と塩味が同程度の食べ物は、やみつきになりやすい特徴があるそうです。食に好奇心旺盛な私は、バナナ+シラスをチョイスし、食べてみました。バナナをひと口かじり、断面にシラスをパラパラかけてパクリ。意外にも、バナナの甘味にシラスの塩味・旨味が加わると、甘味が増しておいしかったです。焼酎や日本酒のおつまみとして合いそうです。ぜひ試してみてください。



週休三日制

事務長 石川 都

コロナ後の社会における働き方改革の目玉は「週休三日」です。石川クリニックスは時代先取りの院長主導で、すでに二年前の春から土曜に加え水曜も午前のみの半日診療にしたので、(木)(日)の休日を含むと、すでに実質は週休三日です。この診療時間の短縮により、皆様にはご迷惑をおかけしている面もあるかもしれませんが、どうぞご了承下さい。ただその結果、私たちがスタッフはかなり勤務にゆとりができました。当院のような少人数のクリニックスでは、一人休むと他のスタッフの負担が大きくなる難点があるのですが、その点体調が万全でない時や非常時の応急態勢でも、一日半か二日半でまた休めると思うと、フルタイム勤務が何日も続く体制では味わえない安心感があります。

またうちのスタッフは皆、家に帰っても夕食準備から寝るまで、家事がてんこ盛りの主婦たちなので、退勤時間もかなりフレックスで実質本位にしています。終了間近で待合室が空なのに皆揃っている必要もないため、予約の患者さんが皆終わっても誰も来そうにないと、皆で早めに掃除を始め、遠距離通勤のスタッフが先に帰ったり、受付とナーズ一人ずつの最少人員が残ったりします。たまたもちろん必要時には、院長以下スタッフ皆で万全の態勢を取ります。そうしたメリハリの効いた臨機応変な対応ができるのも、小規模なクリニックスならではの良さであると思っています。

今月ではや開院十二年となり、スタッフの顔ぶれも変わりましたが、皆和やかに楽しく仕事をしています。今年も開院以来の目標である(地域に根ざした)人に優しい医療をめざし、皆新たな気持ちで頑張つてゆく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

どちらが桜餅ですか

事務 吉田 政子

甘いものが大好物な私に、友達が桜餅を手土産に遊びに来てくれた。早速、ご馳走になろうと箱を開けると、甘い苺と塩漬けの桜の葉がふわっと香ってくる。紅白の苺大福と道明寺が入っているが、桜餅がない。「持ってきた」と言っていたのに、入っていない。友達に言えば「入っているよ」と、返事がある。私の思う桜餅とは、水で溶いた白玉粉と薄力粉に桃色を加え、クレープ状に焼いた皮で餡を巻いて、塩漬けの桜の葉で包んだ「長命寺」のことであり、友達が思う桜餅とは、私にとつての「道明寺」のことであった。どうやら、長命寺、道明寺と地域によって、どちらも桜餅と呼ばれているらしい。春の訪れを感じさせてくれる和菓子なので、今度は桜の下で食べ比べをして楽しもうと言うことになった。さて皆さんが思う桜餅は、どちらですか?

息子からの贈りもの

看護師 澤田 彰子

先日息子が引越しをするので手伝いに行きました。3年前に乗用車一台分の荷物で送り出したはずが、トラック一台分に増えていました。手伝いのお礼にと要らなくなった今流行りの特大ビースクッションをくれました。でもいざよく考えてみると毎月の仕送りで買った物なら買ったのは自分だという事に気づきましたが、座り心地、寝心地がとても良いので細かい事は気にしないでゴロゴロしています。

育ててみます

事務 森 多加子

庭の掃き掃除をしていたら植えた覚えのない松を発見! 1本、2本、3本。どこからか種が飛んできたのだと思います。どれも20センチ位になっていて、抜いてしまおうかと悩んだのですが、しばらくそのままにしておくことにしました。育ててみます。

春のプレゼント

看護助手 柴田 さち子

日々暖かくなってきましたね。愛犬と一緒に散歩に出かけた折、小さな春を見つけた。公園の脇にふきのとうが...春の山菜を目にすると、気持ちもほっこりします。今は公園で遊ぶ子供たちも少なくなり、楽しく遊んでいる声も聞こえないので淋しいですね。



いよいよ

庶務・ウェブ担当 石川 香

九月から始めた政治団体の活動も、いよいよ大詰めを迎えました。ここ半年の間に、看板やチラシをご覧になった患者さんや、近所の方よりお声がけ頂き、本当に沢山の山の方に協力頂きましたこと、心より御礼申し上げます。子育てをしながら、クリニックスで仕事をしながら、限られた中での活動ですが、本当にたくさんの方とお会いし、社会の中で繋がりを作ることができました。今後その繋がりを大事にしながら、様々な声を吸い上げ、未来の子どもの達のために、一生懸命活動してゆきます。引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。